

LS13地方

受験番号

2014 年度 甲南大学法科大学院入学試験問題

## 専門論文試験 商法

(60分)

### 受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は1ページのみである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 答えは、横書きとする。
5. 答えは、実線内の番号に従って書き進めること。
6. 答えは、黒ボールペンまたは黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答えは、無効となる。
7. 答えを訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
8. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
9. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

## 専門論文試験 商法

### 【問題】

以下の〔事例〕を読んで、〔設問〕に答えなさい。

### 〔事例〕

玩具メーカーの P 株式会社(以下、P 社という)は、大株主 A から自らが経営する Q 社に対して、P 社の製品をサンプルとして無償提供するよう執拗に要求を受け、要求を拒めば次の株主総会では会社提案にことごとく反対する旨告げられた。P 社代表取締役 Y1 は、恐ろしくなり、P 社取締役会において、Q 社に対して 500 万円相当のサンプルを無償提供する旨の議案を上程した。Y2 は Q 社が事実上の休眠会社であることを理由に、サンプルを提供する合理的な理由がないと主張して反対したが、取締役 Y3 および Y4 が異議なく了承したため、同議案は可決された。なお、Y5 は取締役会を欠席していた。取締役会決議の翌日、P 社から Q 社に対してサンプルが無償提供された。

### 〔設問〕

事情を知った P 社株主の X は、関係者の責任を追及したいと考えている。誰に対してどのような請求をすることができるか答えよ。